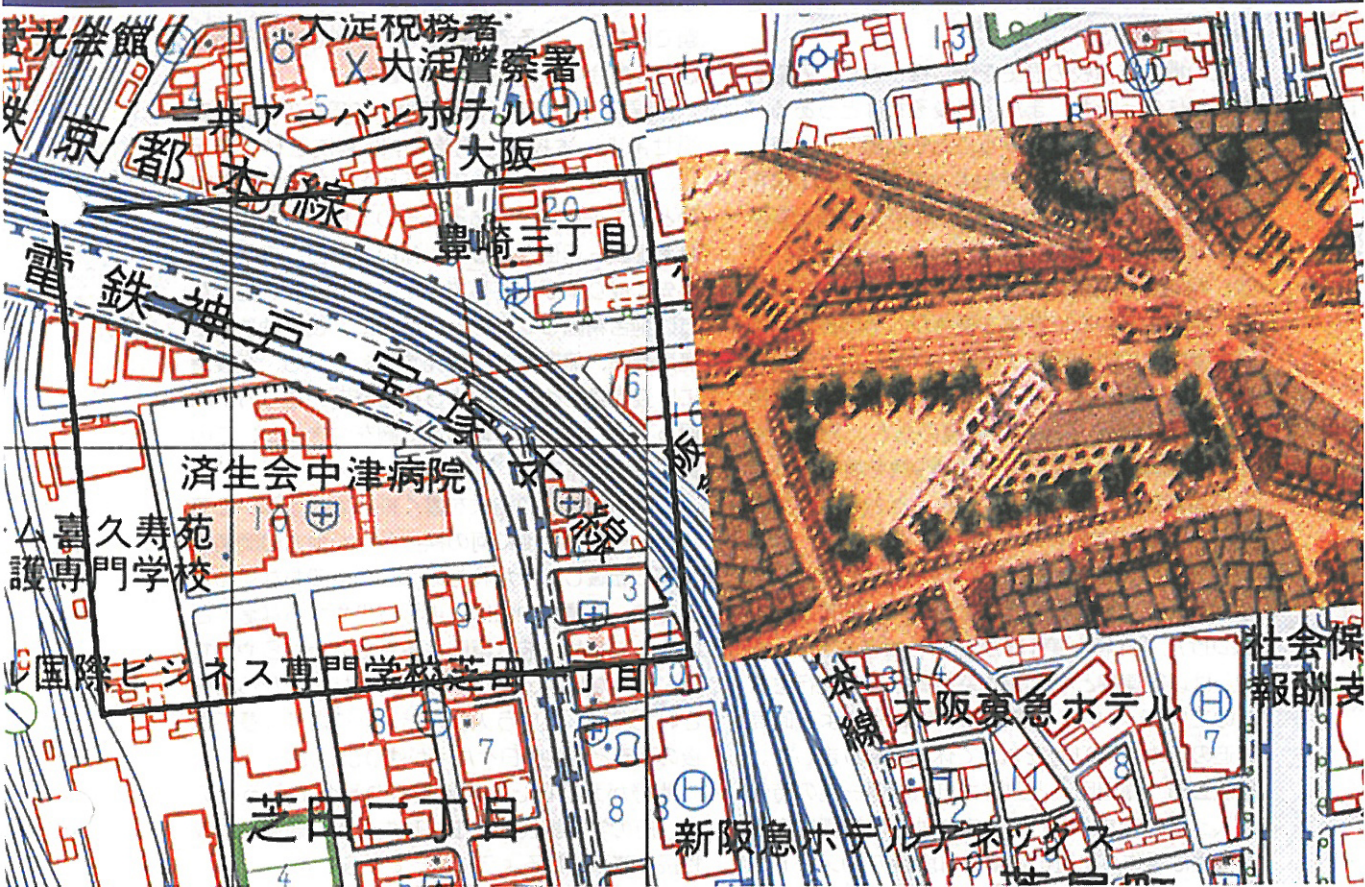


六稜舎報

journal of the RIKURYO alumni association of KITANO HIGH SCHOOL



明治35年から昭和6年まで校舎があった中津(現在の済生会中津病院)

49

2007.9.1

I N D E X

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 02 会長挨拶、名譽会長挨拶 | 20 トピックス |
| 04 平成18年度会計報告等 | 22 六稜同窓会名簿作成 |
| 06 東京六稜会50回記念総会 | 23 第2回六稜ネットワークサミット |
| 10 学区再編について | 24 六稜WEBの10年 |
| 11 六稜会館報告 | 26 事務局だより |
| 12 同期会紹介 | 27 母校の窓 |
| 16 Party Report | 31 六稜短信 |
| 18 母校に還った六稜生 | 32 134周年総会案内 |

135周年への架け橋

六稜同窓会 会長 山本 次郎 (62期)



東京六稜会は2007年に戦後50回目の記念総会を迎えました。本年6月9日、神田学士会館で盛大な総会が挙行されました。誠にありがとうございます。当日は私も出席し、同窓会からの御祝詞を申し上げました。

この機会に母校の歴史を少し振り返り、同窓会がいかにあったか、また、今後それはどうあるべきかについて、考えてみることも必要でしょう。母校の起源は、皆様ご存知のとおり今から134年前の1873（明治6）年、明治新政府が定めた新学制により大阪にただ1校誕生した「欧学校」です。同窓会の発足は1892（明治25）年に東京在住の卒業生を中心に東京六稜会が、その翌年、地元大阪でも大阪六稜会が結成されました。また、「校友会」が組織され、武術部、文芸部、運動部の三部門を中心に、校長指導のもと、先生、生徒、旧職員、卒業生らが月会費5銭を持ち寄って学校活動をより良きものにしようと力を合わせることにしたのです。

さらに校友会報告も発行されて年々盛大となり、1896（明治29）年には校章に由来する名称をつけた「六稜」第1号が発刊されました。「六稜」は以後連綿と45年間同窓会報として発行されたのですが、1941（昭和16）年戦争による時局緊迫のため、第91号をもって休刊となりました。校友会も「報国団」と改称され、戦争一色の時代に入ったのです。それでも自主独立の気概に富む六稜生は手作りに近い作業で竹筋製の50メートルプールを1943（昭和18）年に完成させました。さらに戦局が苛烈化するにつれ、空襲による校舎の災害、校庭での生徒2名の殉難など、大陸と太平洋の向うではじまった戦争が北野全体に襲いかかって来たのです。

戦後はただ腹がへるばかりの不安な日々でした。1945（昭和20）年の10月、当校で校長排斥の糾弾集会がおこりました。10人ばかりの黒マントを着た旧制高校の先輩たちが来校して、「生徒たちに同窓会というものを紹介したいので、午後の授業をやめて全生徒を講堂に集めて欲しい」と申し出たのです。学校側がやや腰が引けた恰好でそれを受け入れると、講堂では別に開会宣言がな

されるわけでもなく、何を論議するのも判らないまま、先輩たちが喋りはじめていました。それは、同窓会の紹介などという呑気な話題ではなく、まるで暴動でもおっぼじまりそうな怒号の集会になって行ったのです。

「諸君よ！ 豁然、眼を見開いて母校の現実を直視せよ！ 本校は、明治6年欧学校として発足し、以来七十有余年、不偏不屈と自由の気風を校是として来た学校である。その本校が時流に流され軍国調一辺倒となり、一体いつの日、軍学校の手先に成り下がってしまったのであるか。生徒たちは刻苦精励して来たというのに、校長は独断で無期謹慎、無期停学を連発する。しかも、空襲時には姿を見せぬ。このような指導者の在り方や如何っ！ われらは悲憤の情に胸を灼きつつ、この責任者を糾弾する。言語道断っ！」

この糾弾集会の結末を書く紙数はもうないのですが、校長が生徒に何の挨拶もなく地方の師範学校長に転職して行かれたのはその後間もなくのことです。先輩の中には、まあ時代やからなあ、という人。いや、彼は軍国主義者だったからやられたんじゃないよ、ボツダム人格者だったから糾弾されたんや、という人。ただ、学校には校長不在後の不安と混乱の日々だけが残りました。

北野が北野らしい規律を取り戻して行ったのは、府の学務課長の濱田成政先生が、急遽、本校校長を兼務されるようになってからです。

濱田校長については、戦後、「封建的な学校名は全部変えてしまえ」と命令した米軍政部ジョンソン旋風に対して「この焼野が原で青年の心の拠り所は何であると思うか。ただ母校あるのみである。その母校まであなたは青年たちから奪い取ろうとするのか」と席を立たれた話は有名です。続く林武雄校長はローマ史の著書もある学者でしたが、机と椅子があれば教育はできると、ご自分のノートで講義された方。これらの名校長の意を体して、先生も生徒たちも以後、北野の歴史の再現と発掘に務め、新時代に対応する教育の場を探索して来たのです。こうして、北野は来年、135周年を迎えるまでになりました。

ごあいさつ

大阪府立北野高等学校 校長
六 稜 同 窓 会 名譽会長 石本 正明



昨年に引き続き今年も東京六稜会からお招きを受け、先日、東京学士会館での総会に参加させていただきました。今回は第50回の記念総会ということで、幹事当番の88期の皆さん方のご尽力もあり、例年以上に多くの方々に参加される盛大な会になりました。ご参加になった最高齢の方は90才を超えておられるとお聞きしましたが、皆さんお元気で、変わらず母校に熱い思いを寄せていただいていると感じ、感激いたしました。おそらくは全国にこのようなたくさんの卒業生の方がおいでになり、母校を見守り、応援していただいていることと思います。誠に心強い限りです。当日は北野高校への進学を希望する中学生に本校を紹介する目的で作成したDVDを、幹事の方が10分程に編集されたものが上映されました。（DVDは、今年からの学区再編に向け、前校長中垣先生のご提案で同窓会のご協力も得て本校が独自に作成したもので、昨年には教職員が手分けして新学区の中学校にこれを持参し、本校の良さを訴えました。最近の高校はこれくらいのPRもせねばならない時代です。）在校生が部活や学校行事で元気に頑張っている姿が映し出されると、皆さんご自分の青春と重ねてか、熱心に見入っておられます。会場が懐かしさに満ちた温かい雰囲気包まれる実感がありました。母校が元気で頑張っている様子を見ていただけて本当によかったと思っております。大阪を離れてお暮らしになる会員の皆様にも、機会をとらえて実際に母校にお立ち寄りいただくことをお待ちしております。

話は変わりますが、東京六稜会の半月ほど前にも全国高等学校長協会の研究協議会があり、東京へ出かける機会がありました。いただいた紙面で、そこで感じたことを少しお話しさせていただきます。当日は文部科学省から担当官がみえ、教育基本法の改正を踏まえた新たな教育改革について説明がありました。今、我が国の教育は大きな課題と困難を抱え、教育再生会議の議論でも「学力向上にあらゆる手立てで取り組む」ことや、「社会の総力をあげて教育再生に取り組む」ことの必要性が指摘されており、なるほどと思って宿に帰りました。その夜、当時は先の農水相の光熱

水費問題が国会で取り上げられており、

テレビニュースでそのやりとりを見ながら何かもの悲しい気分になりました。昔から、子どもは親の背中を見て育つと言われます。それは、子どもたちは親の、そして教師の言うこと、理屈を聴くだけで成長するのではなく、親の背中を見て、教師の背中を見て、世の中の大人のすることを見て成長するといふことが言われているのだと思います。社会の総力をあげて再生に取り組みねばならないほど教育は混迷を深くしており、教育に携わる者として強く責任を感じるのですが、一方で、社会の総力をあげて取り組むべきはどんなことなのだろうかと考えずにはいられませんでした。

また同じ日、世界的に著名な建築家である安藤忠雄氏の「創造力を育む」という講演がありました。関西人の故か、ご本人のお人柄か、随分興味深い楽しいお話でしたが、高校卒業後独学で建築を学んだ氏にとって、世界の各地を巡って肌身でいろいろな建造物に触れたことがよい体験であったこと、地平線・水平線を見て世界の広さを実感したこと、何より「先生方は試験の時、できる問題から解くように生徒に言っていませんか。それで創造力は育てられませんよ。」と言われた言葉が印象に残りました。

翌日、協議会が終わって帰阪する新幹線の中で、北野はどうだろうかと考えました。目先の効率に囚われるのではなく、創造力とは限りませんが、子どもたちの将来を支える骨太い力を示せる学校、生徒を育てるのは教師の人間性によってであり、教育力のある教師であるためには自分を見つめ、自分を磨くことを怠らない、その厳しさをひるまずに受け止め、自分の背中を見せても生徒をよりよく育てられる、そんな教師でありたい、そんな学校を目指したいというのが、道はるかですが、今の私の思いです。

会 計 報 告

平成18年度 六稜同窓会一般会計決算報告

自：平成18年 4月 1日 至：平成19年 3月31日

	平成18年度予算	平成18年度決算	備考
収 入 の 部			
1 入会金収入	975,000	948,000	316名×3,000
2 年会費収入	24,000,000	18,291,500	6,125名
3 総会費収入	540,000	516,900	
4 寄付金収入	1,000,000	1,386,229	内、会館維持協力金 623,100円
5 利息収入	0	1,494	
6 同窓会記念品等売上	800,000	1,146,533	
収入合計	27,315,000	22,290,656	
支 出 の 部			
1 運営費	12,770,000	12,530,100	
(1)人件費	6,200,000	6,006,080	
(2)旅費・交通費	1,100,000	1,060,140	
(3)通信費	500,000	430,060	
(4)印刷・事務用品費	830,000	727,233	
(5)什器・備品	600,000	666,750	
(6)会議費	100,000	157,571	
(7)総会費	1,340,000	1,273,041	
(8)慶弔費	400,000	303,750	
(9)会費払込手数料	1,150,000	743,758	
(10)同窓会記念品制作費	0	719,350	
(11)雑費	550,000	442,367	
2 広報費	7,400,000	6,886,629	
(1)WEB関連費	500,000	966,405	
(2)会報発行関連費	6,400,000	5,920,224	
(3)広報全般経費	500,000	0	
3 全国大会出場援助費	500,000	160,000	
4 各種事業援助費	500,000	272,302	
5 教育環境整備援助費	1,000,000	1,000,000	
6 同窓会館関連費	4,400,000	3,374,250	
(1)什器備品・設備費	2,600,000	2,205,000	
(2)光熱費	1,200,000	1,089,450	
(3)設備管理費	600,000	79,800	
7 予備費	3,557,511	0	
支出合計	30,127,511	24,223,281	
本年度収支差額	△ 2,812,511	△ 1,932,625	
基金会計積立金	△ 2,000,000	0	
年会費前年前受	△ 7,958,000	△ 7,958,000	
次年度年会費前受	0	9,004,000	
前年度繰越金	12,770,511	12,770,511	
次年度繰越金	0	11,883,886	

以上の通り平成18年度一般会計報告を致します。

平成19年4月16日 六稜同窓会会長 山本 次郎

上記一般会計報告は正確であることを認めます。

平成19年4月16日 六稜同窓会監事 栢田 圭兒

六稜同窓会監事 北浦 康弘

平成18年度 六稜同窓会基金会計決算報告

自：平成18年 4月 1日 至：平成19年 3月31日

科 目	決 算	摘 要
収 入 の 部		
1 利息収入等	12,993	
収入合計	12,993	
支 出 の 部		
1 残高証明手数料	420	
支出合計	420	
本年度収支差額	12,573	
前年度繰越金	31,583,582	三井住友スーパー定期・ りそな金銭信託・農林 中金貯金・他
次年度繰越金	31,596,155	

以上の通り平成18年度基金会計報告を致します。

平成19年4月16日 六稜同窓会会長 山本 次郎

上記基金会計報告は正確であることを認めます。

平成19年4月16日 六稜同窓会監事 柊田 圭兒

六稜同窓会監事 北浦 康弘

平成19年度予算は平成19年2月17日の理事会で、平成18年度決算は平成19年6月23日の理事会で承認されました。

お問い合わせは事務局へご連絡ください。

平成19年度 六稜同窓会 一般会計予算

	平成19年度予算
収 入 の 部	
1 入会金収入	960,000
2 年会費収入	24,000,000
3 総会費収入	540,000
4 寄付金・協賛金収入	1,000,000
5 利息収入	0
6 同窓会記念品等売上	800,000
7 基金会計取崩し	10,000,000
収入合計	37,300,000
支 出 の 部	
1 運営費	12,590,000
(1)人件費	6,300,000
(2)旅費・交通費	1,100,000
(3)通信費	500,000
(4)印刷・事務用品費	950,000
(5)什器・備品	300,000
(6)会議費	100,000
(7)総会費	1,340,000
(8)慶弔費	400,000
(9)会費払込手数料	700,000
(10)同窓会記念品制作費	400,000
(11)雑費	500,000
2 広報費	7,700,000
(1)WEB関連費	1,000,000
(2)会報発行関連費	6,400,000
(3)広報全般経費	300,000
3 全国大会出場援助費	500,000
4 各種事業援助費	700,000
5 教育環境整備援助費	8,300,000
6 同窓会館関連費	6,400,000
(1)什器備品・設備費	300,000
(2)光熱費	1,200,000
(3)設備管理費	200,000
(4)展示物補修費	2,000,000
(5)会館設備調査費	2,700,000
7 予備費	3,989,886
支出合計	40,179,886
本年度収支差額	△ 2,879,886
基金会計積立金	0
年会費前年受	△ 9,004,000
前年度繰越金	11,883,886
次年度繰越金	0

東京六稜会 第50回記念総会のご報告

五十君 興 (88期)



東京六稜会第50回記念総会が6月9日（土曜日）、東京神田の学士会館で盛大に行われました。当日は土曜日のお昼ということもあり神田神保町界隈にいつもの喧騒はなく、同窓の仲間が集うにふさわしい、薄曇りながらも爽やかな日恵に恵まれ、大阪などから遠路いらっしゃった参加者も含めて300名近い出席者となりました。これは有名人の参加も多かった昭和52年第20回記念総会の約350名に次ぐ参加者数だそうです。

今回は第50回という節目の総会でもあり、少しでも多くの方にご参加いただき、総会をきっかけに同期会やクラブの交流が図れるようにと、今までの平日夕刻の開催から土曜日のお昼の開催に変更し、同時に会費も会場の質を保ちながら気軽に参加できる価格帯に収めるなど、東京六稜会として新たな一歩を踏み出した総会でもあります。

当番期である88期は1年半前から開催日時・会場の変更を企画し、本総会についての「よくある質問集」を公開したりネットを利用して前広に広報したりと、多くの方々にご協力いただきながら準備を整え、全体進行を担当する幹事として記念総会に臨みました。当日は多数のご出席を賜り、総会も滞りなく進行し、懇親会では多くの方から楽しかった、良かったと88バッジを付けた当番期の参加者にお声掛けをいただいたことを、まず報告させていただきます。

【第一部 総会】

総会は定刻通り13時半から2階講堂にて執り行われました。司会進行は88期の楠本圭子さんです。まずは東京六稜会・志甫博会長から

司会者との軽妙なやりとりも交えて、第50回総会の新しい試みと主旨に触れ、記念品の手拭いと小冊子「東京六稜会50年のあゆみ」についてのご説明や、懇親会で用意されている樽酒は大阪の六稜同窓会からの寄贈であることなど御礼とご挨拶がありました。来賓としてご出席いただいた六稜同窓会名誉会長でもある石本正明校長、山本次郎六稜同窓会会長からもそれぞれお祝いの言葉を頂戴しました。石本校長からは、今年度は昭和48年以來の学区改正で1,2学区を統合した新しい学区となり、今までに無い新しい素質の新入生を迎えたことをご報告いただき、懐かしい母校の様子に皆さん、耳を傾けておられました。最後に黒岩瑛一事務局長から会計報告と銀座ライオンで行われている東京六稜倶楽部について説明があり、無事、総会は閉会いたしました。

志甫 博 東京六稜会会長



石本 正明 北野高校校長

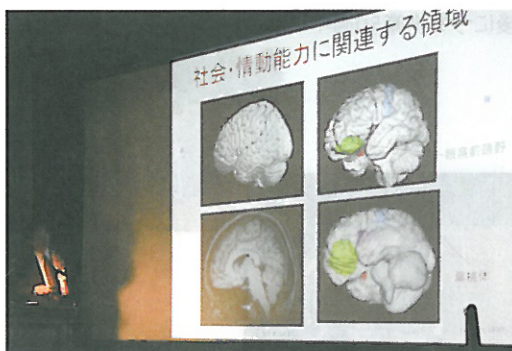


山本 次郎 六稜同窓会会長



黒岩 瑛一 東京六稜会事務局長





【第二部 記念講演とビデオ上映】

＜記念講演＞

総会に続いては定藤規弘氏（88期・器械体操部）の記念講演です。「こころのふれあいと脳科学」と題して脳科学の最先端のお話を分かりやすく、印象に残る語り口でお話いただきました。脳科学ということから解剖を思い出す方もいらしたかもしれませんが、最初のスライドは女占い師がなにやら怪しげな視線で相手と話している古い西洋絵画です。この「怪しげな視線」を人はどのように認知しているのかという問いかけから始まり、人間の脳が相手の感情を読み取るメカニズム、人間の行動特性が物質レベルで解明されてきたこと、超血液型（？）ともいえる遺伝子レベルの類型と気質の研究などなど、興味深い話が続きます。



「認知」という理知的活動と「感情」という[こころ]の活動は別々に働いていると考えがちですが、実は両者は深く関連しており「感情」が「認知」という活動の「心のフィルター」として作用しているそうです。このことから、感情の発露＝「こころのふれあい」を高めることにより認知の活動を助ける。すなわちボケ防止につながるというこれからの私たちにとって実に興味深い事実が指摘されました。

参加者が皆、うなずきながら聞いている間に、最後のスライドが映され、「こころのふれあう場として同窓会を大事にしよう！」と大きな文字が現れたときには会場が爆笑の渦に包まれ、笑いと盛大な拍手の中で講演は時間どおりに終了しました。定藤さん、オチのある楽しい講演をありがとうございました。

＜ビデオ上映＞

講演のあとは「六稜魂」のビデオ上映です。東京六稜会総会を88期が担当するにあたり、先輩後輩の【たて】、同期生や同級生の【よこ】、クラブ活動の【ななめ】の3つを軸に展開していきたい。そして大阪の母校に立ち寄る機会の少ない東京六稜会の皆さんに今の北野高校についてお伝えしたいと考え、北野高校入学を夢見る中学生のために北野高校自らが制作したプロモーションビデオを、許可をいただき10分間に編集しました。

在校生の若さあふれる笑顔、今なお続く校内行事の数々など懐かしくもあり微笑ましい映像が映し出されると、会場の皆さんはそれぞれの高校生時代に思いを馳せているかのように、微笑みながら時間を忘れてご覧になっていました。



【第三部 懇親会】

懇親会は、講堂に隣接する会場に場所を移し15時から開催されました。六稜同窓会から贈られた清酒「六稜」の鏡開きで幕開けです。石本正明校長、山本次郎六稜同窓会会長、東京六稜会から志甫博会長、大山利雄顧問に加えて88期で幹事代表の広本展

子さんが紅一点で加わり、めでたく豪快に鏡開きとなりました。続いて今回出席者の中で最高齢の高山捷一



氏（45期）より、まことにご丁寧なご挨拶と乾杯の発声をいただきました。

懇親会場は300名の出席者にとってほどよい広さで、各期に振り分けられたテーブルでの歓談もいつしか渾然一体となって盛り上がっていました。



学生会館のお料理もおいしく予想以上にバラエティと量があり、みなさん堪能していただけたようです。歓談の合間には出席者全員で参加できるようにいくつかのアトラクションも行いました。



まず、今年の「新会員」3名の紹介です。新卒は119期となり防衛大学校、早稲田大学、東京芸術大学と進学先も様々で、それぞれの方から初々しい自己紹介をしていただきました。

次いで、講演にちなんだ脳トレ体操。両手を使った簡単そうだけど引っかかってしまう体操だったのですが、諸先輩が軽々とこなすのを見て司会も「これは簡単すぎましたか？」と思わず苦笑いを浮かべる場面もありました。ちなみに壇上の新会員や幹事期メンバーが妙にぎくしゃくしたのはご愛嬌というものでしょう。

アトラクションの最後は、第50回総会の「50」にちなんだプレゼントクイズです。最初の質問「今年、50歳になる人は手を挙げて！」の司会の声に88期全員が挙手したのはちょっとした肩慣らし。「名前に『五十』の字が入っている人」、次に「今年結婚50年を迎える人」と質問は進み、最

後に今年卒業50周年になる69期の皆さんを壇上に



お迎えしました。実は69期は今年69歳、そして総会当日は6月9日と「69」が3つも重なるのですと説明していると、「我々は北野に入学して50周年だ！」と72期の皆さんからの自己申告もあり、該当したそれぞれの方に六稜グッズを記念にお渡しして、プレゼントタイムは賑やかに終了となりました。

いよいよ懇親会も終盤になり次期幹事となる89期22名が集合し、代表の白石俊己氏から来年（2008年6月7日土曜日）に向け、より会員が出席したくなるように取り組みたいとの決意表明がされました。最後に学ラン姿で登場した元応援団長の片山信浩氏（88期）のリードで校歌斉唱が行われ会場が一体となり「フレーエ〜、フレーエ〜、きっ・たっ・のおっ」のエールとともに高揚感のあるフィナーレを迎えます。総会・懇親会終了後、同期やクラブの集まりへと、参加者は三々五々、夕闇が迫る都心の街に消えて行かれ、賑やかな中にも実りの多い総会は無事にお被楽喜となりました。



さて、この第50回記念総会は、参加された皆さんにとって「六稜魂」を再確認し北野高校の同窓生としての絆と親睦を深める場になったのでしょうか？「こころのふれあい」に少しでも貢献できたのでしょうか？そして、私たち「百年の不作」と呼ばれた88期が掲げた「六稜のたて・よこ・ななめの糸を紡ぐ」という目標に一歩でも近づくことができたのでしょうか？

【謝辞】

最後になりましたが、東京六稜会の志甫浦会長を始め、常任幹事や事務局の皆様にはひとかたならぬご指導・ご支援を賜りました。また、お酒や手拭い等のグッズを寄贈いただいた六稜同窓会及び会員の皆様、学生会館関係者、その他の有形無形のたくさんの応援をいただいた皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げ、東京六稜会第50回記念総会の報告とさせていただきます。



六稜WEB 東京六稜会

since1997

<http://www.rikuryo.or.jp/tokyo/>

《第50回記念総会》

【070625】ご報告

【070408】F.A.Q.2007

【070325】ご案内

【061225】予告編

上記六稜WEBもご覧ください。

東京六稜倶楽部報告

平成18年12月20日(水)

【第48回】 武 正雄さん(80期)

「株式市場の明日を読む～村上ファンド
の功罪と日本再生の鍵『長期投資』」

平成19年1月17日(水)

【第49回】 笠原 健治さん(106期)

「mixiのこれまでと今後」

平成19年2月21日(水)

【第50回】 林 巧さん(92期)

「妖怪へのいざない」

平成19年3月21日(水)

【第51回】 多田 宏行さん(78期)

「これからの東京の町づくり」

平成19年4月18日(水)

【第52回】 向井 保さん(73期)

「医療情報の電子化の現状と将来」

平成19年5月16日(水)

【第53回】 小松 彦三郎さん(66期)

「関孝和と京阪の数学者たち」

平成19年6月20日(水)

【第54回】 前田 達郎さん(56期)

「大正時代あれこれ」

東京六稜倶楽部今後の予定

平成19年7月18日(水)

【第55回】 広瀬 俊一郎さん(80期)

(日本郵政株式会社監査役)

「郵政民営化」

平成19年8月15日(水)

【第56回】 吉川 清美さん(80期)

(都立北多摩看護学校非常勤講師ほか)

「硫黄島の兵隊」

平成19年9月19日(水)

【第57回】 大野 和基さん(85期)

ジャーナリスト

「表現の自由」

平成19年10月17日(水)

【第58回】 藤原 良雄さん(89期)

藤原書店店主

「私の歩んだ道～出版家業35年」

平成19年11月21日(水)

【第59回】 檜川 哲次さん(67期)

日本コントラクトブリッジ連盟元事務局長

「雑談コントラクトブリッジ」

平成19年12月19日(水)

【第60回】 岡崎 俊雄さん(74期)

日本原子力研究開発機構理事長

「原子力の課題」

平成20年1月16日(水)

【第61回】 鶴田 小夜子さん

(最高検察庁検事)

「あなたは裁判員に指名されたら

どうしますか」

平成20年2月20日(水)

【第62回】 中山 行輝さん(80期)

ギャンブリング・ゲーミング学会理事

「地域活性化とカジノ」

時間：いずれの日も

11:30～14:00(開場11:00)を予定

場所：銀座ライオン7丁目店 6階

「ライオン銀座クラシックホール」

東京銀座・松坂屋となり

Tel.03-3571-2590

会費：2,000円

学区再編について

教頭 鎌田 俊一（81期）

平成19年度から、大阪の府立高校普通科の学区制が9学区制から4学区制に改められました。

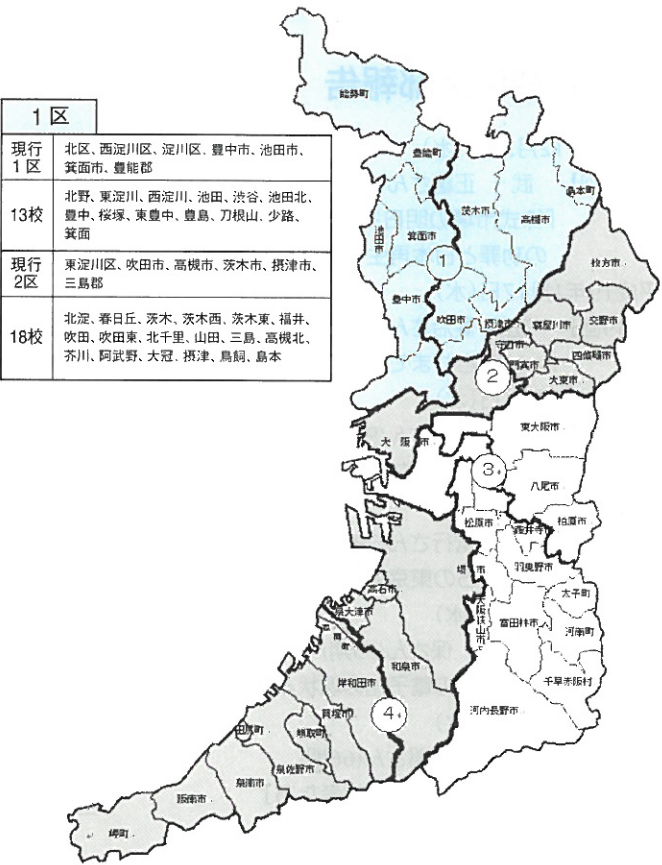
昭和25年に13学区でスタートした新制高校の学区制度の、昭和38年の5学区制、昭和48年の9学区制に続く、34年ぶりの改正でした。

学区制の改正の背景には、それぞれの時期において、中学卒業者数の増減や交通網の整備による通学の利便性の変化や受験競争の過熱化などがあったのですが、今回の改正は、平成11年にスタートした大阪府の教育改革プログラム（再編整備計画）の、特色ある学校づくりを推進し多様な選択を可能とする一連の施策の一つであり、規制緩和の社会的潮流の中で、公教育に対する要請に応えるものとして位置づけられます。

この学区再編に向けて、一昨年来、学校説明会（中学生体験入学）の充実を図るとともに、六稜同窓会からの経費的支援を仰ぎ学校紹介DVDを自主製作、学区内の全中学校に持参・配布するなど、広報活動に努めてきました。入試前は、新たに学区となる旧第二学区からどれほどの生徒が北野を選択してくれるか、我々教員も期待と不安が半ばする状況でしたが、志願者の受付を終えてみると、倍率

こそ昨年とほぼ同じ1.2倍強に止まりましたが、第二学区から全体のほぼ1／4にあたる100名を超える志願者があり、実質的にきわめて密度の濃い入試となりました。

旧第2学区からの入学生を地域別に見ると、やはり近接の吹田地域が最も多いのですが、高槻北部や島本町といった必ずしも交通の便がいいとはいえない地域からの入学生も少なくありません。例年にもましての緊張感の中で1年生の新学期がスタートして早4ヶ月、彼らの北野に対する期待に応え、北野を目指すより多くの後輩達が後に続くよう、現場を預かる教員もまた快い緊張の中で、日々の指導にあたっています。



全日制普通科の新・旧学区

旧学区	学校数	新学区	学校数
1	13	1	31
2	18		
3	7	2	24
4	17		
5	13	3	33
6	6		
7	14		
8	14	4	24
9	10		

六稜会館報告

トークリレー報告

【第38回】2月3日

『迫り来る大地震に備えて』

宗田 奎二さん（71期）

【第39回】3月3日

『雇用機会均等法一期生のわたしたち』

吉田 一実さん（94期）

【第40回】4月14日

『手塚治虫と通年動員～大阪石綿を共に』

金津 博直さん（59期）

【第41回】5月12日

『良き師、良き友～柔道、
送球、鑑球に育まれて』

羽間 平安さん（58期）

【第42回】6月2日

『国民病「脳卒中」を
地域に追いかけて40年』

嶋本 喬さん（69期）

【第43回】7月7日

『「光学ものづくり」から宇宙へ』
石川 勇さん（71期）

トークリレー今後の予定

【第44回】8月4日

『硫黄島の兵隊～生還した父が
遺していったもの』

吉川 清美さん（80期）

【第45回】9月1日

『千年都市大阪のまちづくり』
松村 博さん（74期）

【第46回】10月6日

講師・演題未定

【第47回】11月3日

（演題未定）
自見 弘之さん（70期）

日 時 ★原則、毎月（第1）土曜日
13:30開場 14:00開演（約2時間）
会 場 ★六稜ホール（六稜会館3F）
※1Fロビーも同時使用可
会 費 ★500円（六稜通貨だと4R）
飲 食 ★お飲み物を準備しています。

六稜文庫

福井 栄一（97期）著

『イノシシは転ばない～「猪突猛進」の文化史』（技報堂出版）

山本 まゆみ（77期）著（ペンネームやまもと繭実）

『同窓生からのメール』（文芸社）

黒岩 暎一（75期）著

『SEのためのシステムコンサルティング入門』（日経BP社）

早瀬 晋三（86期）著

『戦争の記憶を歩く 東南アジアのいま』（岩波書店）

岸本 嘉名男（68期）著

『シリーズ詩の現在[3] 詩集 見つめつつ』（北溟社）

藤田 繁（68期）編

『石川県満蒙開拓史』（石川県満蒙開拓者慰霊奉賛会）

藤田 繁（68期）著

『草の碑～満蒙開拓団・棄てられた民の記録』（能登印刷出版部）

藤田 繁（68期）訳・著トマス・ハーディ著

『古き焔があと～トマス・ハーディ「1912-13年の詩」』（十月社）

藤田 繁（68期）共著

『ヴィクトリア朝の小説～女性と結婚』（英宝社）

藤田 繁（68期）訳ヘレン・クーバー著

『いやだあさまであそぶんだい』（アスラン書房）

藤田 繁（68期）訳トマス・ハーディ著

『ウェセックス物語』（大阪教育図書）

松岡 憲司（81期）編北野 裕子（89期）他

『地域産業とイノベーション～京都府丹後地域の伝統・現状・展望』（日本評論社）

遠山 健次郎（56期）共著

『島津分析機器「ひと・モノがたり」パイオニアからリーダーへの60年』（島津アドコム）

清水 信年（102期）共著

『売れる仕掛けはこうつくる』（日本経済出版社）

中正 敏（46期）著

『星ではない』（詩人会議出版）

加賀 完一（57期）寄贈六稜大五会 編

『出会い六〇年～記念随想録』

加賀 完一（57期）寄贈六稜大五会 編

『北野中学卒業六十五年～老いの日に』

島本 慈子（82期）共著

『この時代に生きること、働くこと』（岩波書店）

同期会紹介

55期生の集い

松代 英二郎 (55期)

平成19年の55期会は、平成19年5月17日午後4時から、ホテルグランヴィア大阪（JR大阪駅）20階で行われました。前夜からの雨もあがり、暑からず寒からずの好い気候。41名が元気な顔を見せました。



我々が入学したのは昭和12年4月。丁度70年前です。学校の周囲も淀川も、まだ自然が豊でした。先生方の中には、北野（中津）の校舎以来の方も居られました。

一年生の時に中国との戦争が始まり、五年生の時に米国・英国等との戦争が始まりました。

平時から戦時に移る時代でしたが、北野は高い水準を維持しました。進学校としても最高級。昭和17年1月の全国中等学校ラグビー関西大会に優勝。「北中健児の誇りを持って」が基本です。当日集まった同期生諸君は、どなたも豊かな個性の持ち主であり、爽やかな気持ちを保っています。これも、北野時代に由来すると信じます。

在りし日の紅顔の子弟が集い、がやがや語り合っていると、何時の間にやら現実と70年前の気持ちが混じりあい、アッという間に時間が経ちます。最後に校歌を歌い、再会を期して解散したのは、午後6時半。

55期会（同窓会名簿記載の272名に加えて同時期に同じ学年だった人々を含む）の近況を報告します。今年、案内状を発送したのは112通。出席は、平成15年43名、平成16年43名、平成17年41

名、平成18年42名。毎年の顔ぶれは若干名変わりますが、出席者総数は概ね一定数で推移しております。平成14年、取り壊し直前の旧校舎で総会を開催したときは、64名が集いました。

住所の把握できる人全員に案内状を出すようになったのは、昭和40年頃からです。総会は年一回。会場は一定しておりませんが、会員の足腰を考慮して、最近は大阪駅に近い所になりました。総会以外に、地域の会、55期基の会（さんご

会）、その他いろいろの会があります。さすがにゴルフ会は、目下休会です。

六稜同窓会55期学年理事であった渡辺修治君が昨年逝去され、総会には渡辺修治君の夫人道子様（写真中央）が挨拶に来られました。学年理事後任には石田千代之輔君が選出されました。

60期同期会

鈴木 宏 (60期)

5月9日上記同窓会を正午よりリッツカールトンホテル大阪4階テラスルームにて開催。奇しくも60名（会員50名、同伴夫人10名）集る。60が二つ重なって祝うつもりが全く偶然とはいえ三つも重なり大いに盛り上がる。近畿圏以外からも数名の参加あり、旧交を温める。旧制中学卒業後60年といえど年齢は77-78歳、日頃会っている人はとも角久しぶりの人は自分の事は忘れて相手もそう思っているに違いないが随分老けたなあといった感じがする。何しろ300余名いたのが現在では消息不明者を含めて119名も減っている。因みに昨

年の同窓会以降でも8名他界し中には今回の案内に対して返事を寄越しながらその後亡くなった人もいる。

しかし参加した中の大半は極めて元気、凡そ当日の飲み具合を見ただけで充分察する事が出来る。60周年と詠っているだけに何か特別の趣向とまでは思いながら特に思い当たることもなく、又予算の面もあり内容を盛り上げる事のみ考えた。年配者故食べ物量は質より量、そして自ら取る煩わしさを避け一皿ずつウエイトレスに運んでもらった。更に内容を確かめる為に1週間前に客として小部屋を借り家内同道にて当日出される料理を順番通りに試食し、検討を重ねた。ホテル側もそれに全面的に応えてくれた。その効果として当日のテーブルに注目していたが食べ残しは全くといってなかった。通常のパーティー形式なら常に半分近く残っているだけに世話役として面目を施したのみならず実に嬉しい事であった。又飲み物も厳選する為ビール、清涼飲料水以外はすべて持ち込みとした。例えば焼酎は「森伊蔵」「魔王」等を一升瓶で3本、その他日本酒・ウイスキー・ブランディー等も持ち込みとした。計9本であったがそれもほぼ8割方消費された。私はこのホテルが設立された1997年5月よりフィットネスの第一次会員として少なくとも週に1回は足を運んでいるが、ここ迄見事に事を運んでくれるとは思えない事だった。この事につき当ホテルに対し深甚なる誠意を表する所であ



る。かくして和気藹々の内に時間は経過午後3時全員で北野校歌を合唱し解散した。写真も従来の写場ではなく同じ幹事の山田文一君に担当してもらった。その撮った枚数は全体写真を含めて何と300ショット、それをCD-ROMに170余枚しか入らない為に取捨選択し長時間かけて50人分作成してもらった。大変な作業に対し感謝の気持で一杯だ。その他諸連絡に奔走して頂いた大岩重雄君、又当日夫婦で受付業務や集金清算等をして下さった山田茂樹君 このお3方幹事の絶大なご支援により今回の記念同窓会が大成功裡に終わった事を心より感謝している。

以上を以てご報告と致します。

平成19年度六稜65会総会

3年2組世話人一同（65期）

平成19年6月9日(土)、稲葉、関谷、山崎各先生ご臨席のもと、新大阪ワシントンホテルプラザにおいて、午後1時から総会が開催されました。

当日は同じホテル内で総会に先立ち65会句遊会の会合も行われましたので、一部の同窓生は午前11時前から顔を見せ始めました。しかし大半の同窓生は12時過ぎからの来場で、早速挨拶の交換がこちらこちらで見られました。今年は恩師を含め116名の参加となり、近年にない盛大な総会になりました。

例年通り、会長岡田一彦君の挨拶、物故者への黙祷に引き続き、恩師からご挨拶を頂戴したあと、同期の高知医科大学名誉教授、森惟明君による講演に移りました。「ただ一度の人生－高齢期をどのように生きるか」との演題で、時間の関係上20分程度に短縮していただきましたが、素晴らしいスライドを駆使しての我々にとっては示唆に富んだ有意義な講演が行われました。

た。

笹本国彦君による乾杯のあ



と宴会に移り、懐かしい思い出話や近況の報告等、席を移りながら賑やかなおしゃべりが続きました。午後3時には65会の専任カメラマンともいふべき、上坂俊雄君によるクラス別記念写真の撮影が行われました。卒業時何組であったかを忘れた同窓生もいましたが、撮影に参加された方には、余興としてスクラッチ籤が配られました。はじめての企画で、幹事が寄付をひそかに期待した当たりくじは無かったようですが、1等50万円を念じて夫々真剣な面持ちでスクラッチ籤を楽しみました。

午後3時50分には校歌斉唱の時間となり、角田樹美君の指揮の下、全員50数年前の高校生に戻り



母校の歌を高らかに歌い、閉会となりました。

昨年から65会総会は、卒業時のクラス毎でお世話をするようになっており、今年は2組が担当しました。不慣れた世話人ばかりでしたが、有志の方々のご協力をいただいたお陰で、参加者からは食事をはじめ運営につき、お褒めのお言葉も頂戴し、感激を新たにしている次第です。

来年は3組が当番となりますが、卒業55周年の節目の年に当たりますので、金沢、山代温泉方面への一泊旅行の計画を立てられているようです。65会の懇親の場が更に広がることを祈念してレポートにかえます。

94期同期会

宮原 慎一（94期）

卒業から四半世紀を経て初めて、94期の同窓会を3月31日、六稜会館で開きました。185人の仲間が国内外から集まり、須原浩之先生、松浦育代先生、猿田茂先生、寺井あかね先生、それに食堂のおっちゃん・林真覚さんにも、元気な姿を見せていただきました。

呼びかけたのはポーランド在住の西水佳代さん。親友の三田真理さんが実質的リーダーとなり、母校で教鞭をとる黒田真樹君、出口学君、ラグビー部で突進力を鍛えた瀧口昌宏君らが幹事団に加わって準備を進めてくれました。ヤフーグループの「六稜94期同窓会」（登録はrikuryou94-owner@yahoo.co.jpにEメールで）を活用することで、海外や遠方の仲間ともリアルタイムで情報交換ができるようになり、「3・31」への認知度、反響、期待は加速度的に膨らみました。音信不通だった旧友の連絡先も糸をたぐって割り出していきました。

生澤操さん、今西真基君、合田直美さん、西尾悟君、細見有紀さん。94期の何人かが、再会の日を迎えることなく他界していました。いつでも会えると思っていたら手遅れになることもある、会いたいという気持ちを1人でも多くの仲間に伝え



たい……そんな思いが幹事団を動かしました。

体育大会の優勝旗を伝説のモヒカン刈りで受け取った中村敏章君の発声で乾杯をして始まった一次会。司会の朴忠植君の努力が実り、米豪の仲間もビデオチャットで参加しました。六稜クイズに罰ゲーム（後ろ二重跳び!）など楽しい企画に加えて、他界した仲間への追悼タイムも設けました。スクリーンいっぱいにあの頃の笑顔が広がり、西尾君のフルート演奏も流れて、彼らが私たちの心の中で生き続けていることを確かめました。

約3時間の一次会は校歌斉唱で締めましたが、事前の申し込みを大きく上回る138人が二次会に突入。ほぼ全員が三次会になだれ込みました。10代の心を取り戻した中年男女の熱狂は数か月たった今も冷める気配がありません。

103期同期会

井上 聡子（103期）

お盆の真っ最中（昨年の）8月13日に六稜会館にて103期同期会に参加してきました。

卒業して15周年、初の全体同期会ということで150人を超える盛況ぶりでした。

受付に行くと今日の時間割（写真1）があり、もらった名札にもグループ分け。なにやら楽しい予感がします。更にシールが貼られており、それは恋人募集中用マーク！（微妙なお年頃のせい？）女性陣のほうがノリノリで付けていたのが印象的でした。

同期会は時間割の通りに進み、【朝（昼）礼】では学年理事の田村亘くんの司会が大ウケ。「女子の皆さん、厄年明けましておめでとうございます！」から始まり、高校の頃とは少し違う顔を見せてもらいました。

2限目【保健】は、末廣由夏さんの講演でした。現在は助産婦だそうで、内容は今我々の世代が迎える出産に関するもので

女性は元より男性にも聞いて欲しいお話でした。

3限目【実力テスト】ってことで、曾根垂矢子さんの司会で北野在学中に関するクイズ。この辺りから周りの人と話をしたりして、グループがまとまってきた感じ。1位のチームには賞品があるらしい!?

4限目【体育】体育と言えばみんなが苦しめられてきた例のアレが登場。水泳でもなく、ラジオ体操第二でもなく『なわとび』! 上限は年齢を考慮した上（?）で20回までで実力テストとの合計点で争うことに! 各チーム真剣に跳んだ結果…優勝チームの副賞は「20周年同期会幹事就任」!（ハメられた!?）

5限目【数学&国語】みんな???って感じだったのですが、実は平田先生（数学）と辻先生（国語）が不参加ということで『ブランク』に!（最初から仕組まれた模様）みんなから「懐かしい!」の声が出たのは言うまでもありません。ということで1階に下り、軽食をとりながらみんなとワイワイ懐かしい話をすることができました。北野史上最大の14クラス（672人）だったのでわかる人、わからない人いましたが、高校時代の顔が今の顔の中に見え隠れする感じがとっても面白かったです。意外と（すいません）先生方が変わってらっしゃらなくて驚きでした。卒業以来でみんなに会えて本当に楽しかったです。幹事の皆さんお疲れ様&ありがとうございます。そして幸いにも（?）優勝した新幹事チーム、5年後宜しく願います!



（編集委員より…48号掲載予定でしたが今号に掲載させていただきました）

かったから、体育大会のファンファーレもオケ部が担当していた。普段、ヴァイオリンやチェロを弾いている者が、急にトロンボーンやらを持つわけで、上手いわけがない。と言っても、同級生には許してもらえらると思う。

母校に還ってから、たまに、音楽室で練習しているオーケストラ部を見に行く。現在の音楽室は天井が高く、空間的に余裕があり、窓の位置も随分上の方だから、落ち着いた雰囲気だ。しかし、練習を見ていて、些細なことだが、昔と同じだ、と思ったことがある。合奏の時、チェロ奏者が、音楽室の壁面にあるギターケースの扉を開けるのだ。理由は簡単。扉を開けたままだと、チェロの弓が当たってしまうのである

北野入学前の自分と入学後の自分を比べると、後者の方がはるかに長くなってしまった。社会科の教師は良くも悪くも一國一城の主と評されることが多い。しかし、北野で教えていただいた諸先生方の影響が、授業のスタイルなどに反映している部分は確かにある。ここ数年、自分の教え子が教育実習に来るようになった。授業を見学していると、その中に自分の影響を感じてしまうことがある。うれしいやら恥ずかしいやら。1年でもいいから、彼らと同じ教壇に立ってみたいとも思う。



六稜グッズはいかがですか？

『Tシャツ』 M, L (2枚以上送料無料)

800円 (2枚1,500円)

申込番号【TSM】(Mサイズ)【TSL】(Lサイズ)

『ハンカチ』 (3枚以上送料無料)

300円 (S) 400円 (M)

申込番号【HDKS】(S)【HDKM】(M)

『DVD六稜魂』

2,000円

申込番号【RRD】

『六稜百三十年』 B5版127ページ

2,000円

申込番号【130】

『六稜会館・新校舎スケッチ』

絵：小森裕三氏 (66期)

500円 (10枚組)

申込番号【PSS】

『LAST SHOT』

写真：矢作教諭

500円 (8枚組)

申込番号【LST】

『新旧校舎ポストカード』

写真11枚：昭和校舎

絵4枚：岡村隆久氏 (77期)

1,000円 (15枚組)

申込番号【PSC】

『昭和校舎タイル』

18×18cm 木梓化粧

5,000円

申込番号【STL】

『われら六稜人』シリーズ

1998年、1999年、2000年、2001年発行

の4冊。各冊1,500円 (4冊セットで4,000円)

申込番号

【W98】【W99】【W00】【W01】【W4S】

年間を同じ学び舎で過ごしたというだけで、人はこんなにも懐かしく話の弾むものなのです。私たちの学校が本当にそれに値する立派な学校として存在してくれているからこそ、それが可能なのだなあとあらためて感謝し、私事ながらそんな学校に入るよう、その昔勤めてくれた亡兄にも感謝したい気持ちになった事でした。



67期生、次回は3年後、卒後55周年の節目に又集うことになっております。

六稜期別対抗ゴルフ 初優勝に大感激！

北村 康孝 (81期)

恒例の第18回六稜期別対抗ゴルフコンペが7月29日(日)に三田カントリー27で開催されました。年齢層は71期から93期まで、団体戦の組数は9組、エントリーの人数は女性8名を含む85人と、幅広い多士済々の盛大なコンペでした。

私達81期は、10年程前から参加させて頂いておりますが、強豪の諸先輩の期が活躍されるのを横目で見ながら、参加することに意義があるのだとオリンピック憲章のような精神(?)で、やせ我慢をしておりました。今回は、いつもと違い個人戦の成績が良く、準優勝の高瀬君をはじめ、上位に沢山名前を読み上げられ、今迄の年とは違っていたのにもかかわらず、優勝はまったく想定外で、気楽に和気藹々、食事と歓談を続けておりました。団体戦の順位発表の時も(下位からの読み上げ)、3位の発表に81期の名前がなかった事で、皆、がっくりし、今年も団体戦は入賞をのがしたねえ、と嘆いていたのですが、なんと、「優勝は81期！」との幹事の声。

全員、最初は「ええっ？」それから、どっと沸きに沸いた事は言うまでもありません。

優勝の美酒をゆっくりと味わう暇もなく、優勝の挨拶やら優勝カップを囲んでの記念撮

影やらと、慌しく時間が過ぎ、やっと優勝の感慨があふれてきたのは、帰宅途上の車の中でした。

過去17回の優勝された諸先輩の期に、私達81期も仲間入りさせて頂く訳ですが、あれはブロックと言われぬように、今後も同期コンペ等で切磋琢磨し、連覇目指して頑張りたいと思います。



尚、栄えある優勝メンバーは、高瀬友久、高田正博、北村泰孝、新子哲、吉原純一、辻俊朗、上田均、和田多喜子の8名です。

次回は、ディフェンディングチャンピオンとして、2チームの参加を目指しておりますので、我と思わん81期諸氏は気軽に私迄ご連絡ください。

第19回六稜期別対抗ゴルフコンペは2008年7月28(日)三田カントリー27で開催予定です。奮ってご参加ください。

母校に還った六稜生

社会科 松本 俊明 (100期)

「高校を辞めたい」入学して1ヶ月、そのことばかり考えていた10数年前の私。親にもその思いをぶつけ、父親と最初で最後のとっくみ合いの喧嘩もしました。

中学校時代、成績は常にトップクラス。塾にも行かず、余裕の中学校生活を送ってきた私にとって北野高校での生活は衝撃的なものでした。授業の内容がわからない。特に数学は外国語を聞いているに等しく50分間が拷問のようでした。「家庭学習・予習」？学校外で学習する習慣のない私に

こんな私が今、北野高校の教師として教壇にたっているのは運命のいたずらとしか思えません。そして、今現在の私は自分自身の人生に納得し、充実しています。だから嫌いであった北野高校にも今は感謝しています。数多くの挫折を経験させてもらったおかげで、「変なプライドは持つだけ無駄、かっこ悪くても自分の大切なもののために頑張ろう」という信念を持つことが出来ました。恩師（現役時の体育教諭）の影響を受け、体育教師を目指し、体育系の大学を受験→失敗し浪



「高校現役時代の松本投手」(1987年7月)



「現在の松本監督」(2007年7月)

は不可能なことでした。必然的に全ての授業に拒否感を抱き、体育と芸術以外は現実逃避。最初の中間考査はもちろん……。周りの生徒も異生物に思え、話しかけることもせず、いかつい丸坊主の私に話しかけてくる変わり者がいるはずもなく、最初の遠足（当時は春・秋の2回）は仮病で欠席、6月になるまで友人は出来ませんでした。こんな私を救ってくれたのが北野高校野球部だったのです。中学時代一塁手だった私は投手として起用され、他の一年生の誰よりも早く、試合に出場させてもらい、いつの間にか私は、高校野球そして投手の魅力・魔力の虜になっていました。野球をするために嫌な事は我慢しよう。その思いだけで、1年、2年と過ごしました。クラブを通じてラグビー部やサッカー部などの友人も増え、3年生になって少しか学校になじめたような記憶はありますが、北野高校を好きになれないまま卒業したのは否定できない事実です。

人→法学部に入学もやはり教師への志を捨て切れず、教員免許取得のため大学5年生に→ところが就職は一般企業→でも教師への志を捨て切れず退社→現在に至る。このような波乱の人生をおくり、「今」があるのも、野球部との出会い、恩師との出会い、何よりも北野での辛い高校生活のおかげだと思っています。母校に還った六稜生として微力ではありますが、北野で3年間を過ごす高校生たちが充実した高校生活を送れるように、「大切なもの」が見つけれられるように全力で支援していきたいと思います。

この4月に北野に戻って(?) きました。卒業以来すっかり記憶から遠ざかっていたキタノ…まさかまさかの転勤命令…初任者は4年後～転勤になるとは聞いてはいたものの(今年度は卒業年次生を担任することも決まっていたので) 私には寝耳に水状態! しかもキタノ…。偉大な先生方の思い出に「こんな私で本当に勤まるのか?」と、その日から不安な気持ち一杯で、初出勤日の4月2日までどれだけ長かったことか! 3カ月がたとうとしている今でもまだまだなれないことばかりで周りの先生方にご迷惑を掛けてしまっていますが、生徒たちはそんな私を日々癒してくれています。愛すべき後輩たちのためにも、私なりにですが頑張っていきたいと思います。それでは、ここからはそんな私の『今の北野』日記を少々――

***4月2日(月)初出勤日、十三駅から徒歩。**

何度が信号に引っかかり昔を思い出すー『そうだ、次の信号までは小走りしないとダメなんだった…』ー今でもこのタイミングは変わらない。正門(昔の北門)をくぐり新校舎へ。なんと近代的な建物か。方向感覚が狂ってしまい、迷子になる。見覚えのある先生方があちらにもこちらにも! 怖かったはずの某先生が優しく声をかけてくださる。不思議な感覚。この日、入学式。相変わらず4月初日に。昔の5分で終わった入学式・式当日提出だった数学の山のような宿題を思い出す。今の生徒たちはどこことなく垢抜けた感がある。

***4月10日(火)宿題
考查の監督。**

新しい教室に入るとなぜか教壇の高

さが昔のままである! 昇り降りも一苦労。開始時刻が近付くと生徒は各自荷物を教壇上へ置きに来る。これも昔どおり。その後、初授業。まさか自分がここで教えるなんて…でも宿題をさっそく出してしまった。がんばれ後輩。



***4月20日(金)創立
記念日。**

でも普通に授業。
やっぱり、ね。

***5月22日(火)前期第
一中間考査始まる。**

昔は受験する身で『ふうふう』言っていたが、今度は作

成、採点で『ふうふう』言っている自分。テスト一つ作るのもここ北野ではたいへんだ、と思う。

***5月25日(金)懐かしい人に再会。**

同じクラスだった天才M君が教育実習生でやってきた! しかも教科は私と同じ英語。あの天才M君に授業を見学される。どんな感想をもたれたのか冷や汗ものだ。

***6月1日(金)延期になっていた球技大会。**

授業がないためか生徒も教員もどことなくほんわかしている。スポーツ能力の高い生徒が多い。身体も他校の生徒と比べて大きい気がする。毎休み時間、手作りのお弁当を食べている姿を思い出して納得。クラスの応援も素晴らしい。昔は部活単位で応援していた気がするんだけど…あれは水泳大会だったのかなあ?

***6月5日(火)今日は天才M君の授業を見学。**

その後、なんとこの私が彼の授業を批評することに! 不思議な感じ…。思い出話も少々。なんと、天才M君も実は数学の予習に毎日毎夜格闘していたらしいことが発覚! いつも余裕そうにしていたのに!! な～んだあ、私と一緒にだったのね…と(一緒にしてごめんなさい)。あのときその事実を知っていたなら、私の劣等感も少しは癒されたのかもしれないなあ…なんて。

***6月10日(日)六稜祭。**

巨大な迷路に、模擬店に、クラス劇・ダンス、各部の発表、その他いろいろと賑やかな文化祭になっている。あれ? 昔の自分は何をしたんだっけ? そうそう、映画作成だ。『十三の由来を探る』とかなんとかだった気がする。あの頃のみんな、元気にしてるかしら。

――― ただいま記録更新中 ―――



トピックス

梅林を育てて30年

—大阪城梅林育ての親 西野 豊平衛さん—

六稜同窓会が母校創立100周年記念事業として、1973（昭和48）年大阪城内に880本（44種類）の梅林を造成して大阪市に寄贈したことは皆様ご存知だと思います。それから34年が経ち今や梅林は樹数1250本（95種類）になり、梅花の季節には1日に15000人ももの来訪者があるほど市民の憩いの場になっています。このたびその梅林の保守管理を営々と務めて30有余年の西野豊平衛（にしのとよへい）さんが60歳の定年を迎えられ、大阪市ゆとりとみどり振興局主席主任を最後に勇退なさいました。大阪城梅林の「生みの親」が六稜同窓会ならば、西野さんはその「育ての親」とも言えましょう。六稜同窓会では今年2月27日の観梅会の日、KKRホテルでの昼食会に西野さんをお招きして、回顧談をお聞きしたのですが、あらためて6月16日に梅林で同氏にインタビューをしましたので、概要を会報に掲載してより多くの皆様に知っていただき、併せて西野さんへの感謝の気持ちを表したいと思います。

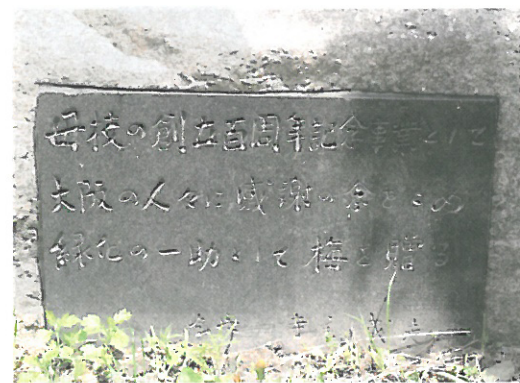


大阪城梅林は戦争中の米軍の空襲で全壊した砲兵工廠の跡地で、戦後昭和38年頃までは自動車練習場として利用され、その後樹木を植えて公園「小鳥の森」となっていましたところを昭和48年六稜同窓会からの寄贈を受けて梅林として翌49年スタートしたのでした。西野さんが中心となって何年もかかって、梅木の枝切り、施肥、害虫の駆除はもちろん、遊歩道の整備、区切り石や柵（一部に手作りの竹の柵もあります。）の設置などに努められました。かくして数年、小さかった樹木たちも育ち花もぼちぼち、人もぼちぼち（西野さん



西野 豊平衛（にしのとよへい）氏略歴：1947（昭和22）年1月大阪府生まれ。大阪府立農芸高校卒業。大阪府役所に勤務。主として公園局に所属し、公園の保守管理業務を歴任、平成19年3月末、定年退職時は大阪市ゆとりとみどり振興局主席主任

のお言葉そのまま）増えだしました。西野さんのグループは6名で、大阪城公園の保守管理を大阪市の職員が直営でやってこられたのが、自信となり、思いきって自分たちで樹造り（梅樹の形を整えること）をしようと研究努力されました。そのポイントは毎年人の背丈に近い枝に花が咲くように剪定をすることで、高いところの枝を切って、下枝に陽光があたるように手間を掛けて整えることでした。このおかげで見あげないと花が無いような他所の梅林とは違うと自信を持っておら



れるように見えました。また西野さんは梅樹の増植にも力を入れました。梅の研究で高名な某大学教授とも親しくなられ、この先生が中国に出張されるなどの機会に珍しい梅木の「穂木（小さな枝、長さ20-30センチ）」を持ちかえってもら

い、税関内（植物防疫所）で鉢木接ぎ木して、1年以上育てて検疫を受けてから持ちかえり、自宅で育てては梅林へ植樹するなどの手間を繰り返して増やされたのです。西野さんの梅を愛するお気持ちの深さに感激させられました。

華農玉蝶（かのうぎよくちょう）、単弁跳枝（たんぺんちょうし）、小緑萼（しょうりよくかく）、傳粉（ほぶん）など、貴重な品種もこのようにして集めました。

追々と梅林用地も拡大されて、今や1.7ヘクタールの地に2月、3月になれば95種、1250本の梅花が次々と咲き誇って訪れる人びとを楽しませてくれるのですが、その蔭にはこの西野さんのような市職員さんチームのご苦労があったのです。梅林が有名になるにつれ近隣の梅林との交流も増えてきたようで、近江長浜の盆梅の専門家との情報の交換や穂木の交流も進んでいるそうです。

大阪城梅林の育ての親、西野豊平衡さん、30余年の長い間梅林を守り育てていただき、本当にありがとうございました。今後のご活躍とご多幸を祈ります。

来年の六稜観梅会は平成20年2月27日(水)の予定です。皆様のご参加をお願いします。食事の準備の都合上申し込み制になっています。事務局へ申し込んでください。ご協力をお願いします。（事務局より）

六稜ハンドボールクラブの活動について

西浦 徹（77期）

昭和15年（1940）に創設されたハンドボール部は、昨年、9月16日（土）プラザオオサカで創部65周年記念総会を開催しました。

当日は現顧問の小林正樹、福本宏樹の両先生および元顧問の野々村博、田中秀和の両先生をお招きし、また創部当時のメンバーの奥田至さん（55期）から116期の若手まで、老若男女、総勢80名が参集しました。記念パーティーでは中学・高校時代の思い出話、現役チームの現状ひいては高校ハンドボール界、日本・世界のハンドボール事情

まで楽しく語らいあいました。

記念パーティーに先立って行った総会では①会則の改定…副幹事長職の新設、年会費の改定（社会人一律3000円）、②役員改選…会長 石原健吉さん（65期）、幹事長 荒木光明さん（71期）他が承認されました。

その後、各世代の方々に（概ね3～5期に一人）幹事をお願いし、現在は幹事・会計監査19名の体制で当クラブの運営を進めています。

少子化などの影響もあり、部員不足で歴史ある運動クラブが廃部・休部の憂き目にあっていますが、現役チームは男女とも毎年30名以上で元気に活動しています。私学の壁が厚い中、公立では常に上位でがんばり、中央大会へ駒を進めることもしばしばです。殊に男子チームはここ数年、後一步のところで近畿大会への出場を逸しています。

六稜ハンドボールクラブは、こうした現役チームへの支援を活動の中心にしています。

また、OB・OGが卒業後もハンドボールを楽しむための受け皿として、クラブチームを復活させることも課題の一つと考えています。

今年5月、ゴールポストを母校体育館へ運び入れることが構造上困難になったとの情報を得ました。室内で実施される中央大会に向けての練習や天王寺高校との定期戦の開催に支障を来すこととなります。OB・OG会として、折り畳み式ゴールポスト一式を現役チームへ寄贈することとしましたところ、第1回全日本総合室内選手権大会で六稜クラブが3位になった当時のゴールキーパーの鈴木良太郎さん（67期）から、「室内用のゴールポストには格別の思い入れがある」との由で、寄付の申し出をいただきました。

このゴールポストを初めて使用した天王寺高校との定期戦は6月24日（日）に母校体育館で行われ、結果は次のとおり北野が4勝2敗で総合優勝しました。

新人女子	北野 14- 4	天王寺
新人男子	北野 23- 8	天王寺
現役女子	北野 8-11	天王寺
現役男子	北野 27-19	天王寺
OG	北野 16-18	天王寺
OB	北野 34-16	天王寺

六稜同窓会名簿作成作業へのご協力をお願い

名簿委員長 和田 芳郎（80期）

当委員会では六稜同窓会名簿を5年ごとに作成しているのですが、次回の発刊は平成20年（2008年）となっております。

内容の充実を期するためにも、会員の皆様にはぜひともご協力をお願いいたします。

六稜同窓会名簿は 六稜同窓会の重要な要素であり、六稜同窓会の貴重な財産です。

また、名簿は 同期の友人達との連絡網であり、先輩と後輩をつなぐ架け橋となるものです。

同時に、会費を納入していただくことで六稜同窓会を円滑に運営していくための基礎でもあります。

そして六稜同窓会は 名簿に基づき発行する会報を通じて同窓会活動を会員の皆様にご報告することで、会員の皆様により一層活動に親しみを持っていただき、また、積極的に六稜同窓会活動に参加していただきたいと考えています。

当委員会は 六稜同窓会事務局と一体となり、日々名簿情報の更新を行っておりますが、まだまだ不明者も多く完全なものではありません。

会員の皆様にご満足いただけかつ より充実した名簿の作成のため、ぜひとも六稜同窓会名簿作成作業にご協力をお願いいたします。

当委員会では 現在 皆様のご協力により作成した名簿を創立135周年記念会員名簿として発刊するための準備をすすめておりますが、六稜同窓会名簿発刊についての最終的な結論は 六稜同窓会会員である皆様のご意見によるべきものと考えております。

個人情報保護法が施行されて以来、同窓会名簿

の発刊について様々なご意見をいただきました。

また、実際に多くの問題点も指摘されております。

当然のことながら、六稜同窓会名簿の発刊に当たっては個人情報の保護に細心の注意を払い、会員の皆様にはご迷惑がからないように致します。

たしかに名簿の発刊には、個人情報の流出等の不安はつきものです。

しかし我々六稜同窓会会員は皆、信頼しあえる仲間だと考えております。

会員の皆様の期待に応える六稜同窓会名簿をぜひとも発刊したいと考えております。

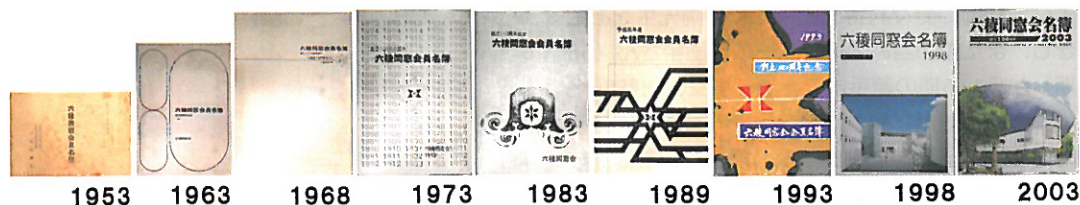
ご意見、ご要望等がございましたら当委員会までお寄せ下さい。

六稜同窓会名簿作成作業へのご協力をよろしくお願いいたします。

この会報の会費払込用紙に印字されている各個人情報の名簿掲載について

1. 名簿の性質上、氏名、卒業年度は掲載とさせていただきます。
2. 住所等の個人情報の項目につきましては今までの掲載可・不可をご確認ください。
3. ご変更等のある場合は同封葉書にて訂正して、折返し返送願います。
ご希望によっては封書、ファックスでも受け付けいたします。
4. ご連絡無き場合は掲載承諾とさせていただきます。

50年にわたる名簿の歴史



第2回六稜ネットワークサミット



FR委員長 千種 康一（88期）

平成19年6月23日に六稜会館にて第2回六稜ネットワークサミットを開催致しました。昨年10月に第1回を開催し、各期代表者、各クラブOB会代表者にお集まり頂き、六稜SNSについての説明や各団体の情報交換を致しました。今回は、更にWEB、mixi等で広報し、六稜同窓会の縦系、各クラブ、同期会の横系で編み出す情報ネットワークにご関心のある学生世代にもお集まり頂きました。35名の参加者でしたが、事前にお願したアンケートの集計結果に基づき六稜SNSについてのご意見や六稜ネットワーク、六稜WEBについて、情報交換と討議を行いました。事前アンケートの結果と同じく方向としては六稜SNSの実現へご賛成意見は頂いていますが、根本的な目的や意義をもっと明確にすべきだとか、インターネットを利用する人とならない人の考え方の違い等、様々ご意見を頂きました。（ご参加頂いた方のご意見やレポートは六稜WEBをご覧下さい。）



様々のご意見が有り、具体的な結論としてはまとめることは出来ませんでしたが、最後には六稜SNSを進めていくにはもっと目的と手段を更に具体的に示し、もっと多くの方にご理解頂くことが必要であることと、お集まり頂いた方々の中から六稜ネットワーク推進委員会を立ち上げて行くことを、大筋としてまとめさせて頂きました。参加して頂いた方々が六稜人として「人と人のつながり作り」「六稜ネットワークの実現」については思いを同じくしていることにさすが六稜と強く感じました。

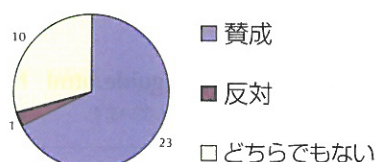
引き続きの懇親会は最高齢50期阿部先輩の激励の乾杯によって始まりました。50期台から110期台まで60歳以上の年齢差は関係なく、六稜ネットワークについての討議の続きで熱い議論もありましたが、いろいろな団体での活動情報の交換もあり、学生と社会人の意見交換もあり、和やかな交流がなされました。

今後はFR委員会だけでなく六稜ネットワークサミット、六稜ネットワーク推進委員会を通じて六稜SNS他ネットワーク行事を進めてまいりたいと考えており、特に六稜ネットワークサミットは広くご案内して定期的に開催してまいります。

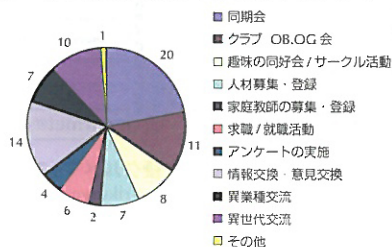
今後とも皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

アンケートの集計結果

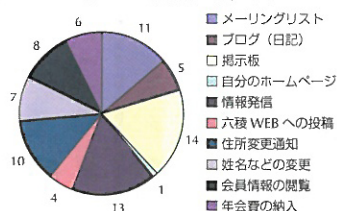
①現在の六稜WEBによる内外へ向けての情報発信の機能に加え、六稜独自SNSを導入する



②六稜SNSを利用したい局面は何ですか？



③六稜SNSに求める機能は何ですか？



六稜WEB・みどころ10選

六稜FR委員長 千種 康一 (88期)
六稜Web制作責任者 谷 卓司 (98期)



1 六稜ワールドアイ <http://rikuryo.or.jp/worldeye/>

現在、世界7ヶ国の六稜人が寄稿してくれています。
1. マルキ明子さん@97期 … スイス・ボラントリュイ市
2. 小松雄爾さん@97期 … オランダ・アルクマール市
3. 坂本知美さん@109期 … ベルギー・ブリュッセル市
4. 新保義剛さん@87期 … ジンバブエ・ハラレ市
5. 田村史子さん@106期 … アメリカ・ニューヨーク市
6. 吉田素子さん@111期 … ノルウェー・トロンハイム市
7. 中本 杏さん@118期 … イギリス・ロンドン市
(8). 倭 昌輝さん@86期 … ヴェトナム・ホーチミン市
(9). 香取由夏さん@109期 … オーストリア・ウィーン市
編集長: 矢野圭子@110期/編集員: 北野美穂@113期ほか

他に最適な候補をご存知の方はお知らせください!!
(永住 or 短期在住は問いません)

メールの宛先はこちら…
worldeye@rikuryo.or.jp



2 web六稜文庫 <http://rikuryo.or.jp/books/>

六稜会館1Fにある「六稜文庫」と連動し、会員からの寄贈本を紹介しています。

amazon.co.jpとも提携しており、ここを経由してネット・ショッピングすると代金の3%が六稜に寄附される仕組みです。

amazon.co.jpアソシエイトでは、「毎月10冊超」を目標にしています。ご協力ください。

お問い合わせはこちら…
books@rikuryo.or.jp



メールの宛先はこちら…
info@rikuryo.or.jp

3 六稜プレイガイド <http://rikuryo.or.jp/playguide.html>

今後予定されている催事をお知らせしています。



4 六稜ニュース <http://rikuryo.or.jp/news/>

既に催された行事などをお知らせしています。会員が自由に投稿できる伝言板です。



メールの宛先はこちら…
voice@rikuryo.or.jp

5 読者の声 <http://rikuryo.or.jp/voices/>



link@rikuryo.or.jp

6 六稜ディレクトリ <http://rikuryo.or.jp/link/>

便利なリンク集。



gourmet@rikuryo.or.jp

7 六稜グルメマップ <http://rikuryo.or.jp/gourmet/>

会員のお店紹介。



TR@rikuryo.or.jp

8 六稜トークリレー <http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

第1土曜@大阪。



tokyo@rikuryo.or.jp

東京六稜倶楽部 <http://rikuryo.or.jp/tokyo/>

第3水曜@東京。



office@rikuryo.or.jp

こちら六稜事務局 <http://rikuryo.or.jp/office/>



<http://rikuryo.or.jp/shop/>

六稜購買部 <http://rikuryo.or.jp/shop/>



六稜WEB通信 <http://rikuryo.or.jp/melma/>

WEBの更新情報をお知らせするメールマガジン(不定期刊行)。もちろん無料です。ご登録下さい!

六稜WEBの10年

谷 卓司 (98期)

六稜WEBが1997年9月23日に開局して10年を迎えようとしています。アクセスカウンターも9月を待たずして「50万ヒット」を超えるでしょう。このような堅い内容のサイトで、この数字は驚異的な記録と言えると思います。悠久の歴史と、その間に輩出された豊かな人脈に裏打ちされた、まさに「北野ならでは」の快挙と言えるのではないのでしょうか。

節目の時を迎えるにあたって、この10年を振り返っておきたいと思います。まず、前史…準備委員会の発足は1997年のGW前後に遡ります。金曜日の晩に、菅正徳さん(69期)から「明日、出頭するよう…」FAXを戴いたのがきっかけでした。この時、昭和校舎の校長室に集った十数人のメンバーが、後の「六稜WEB」の命運を決める創始者たちだったのです。

準備委員長の菅さんからの要望は「北野に相応しい…世界一の同窓会サイトを」ということでした。連絡用にMLを立ち上げ、1日に50通以上メールが飛び交うことも日常茶飯でした。そのうえで、月に一度、顔合わせの会議(オフミ=Offline Meeting)を開催。17:00に北野を追い出されるのを待って、十三のおでん屋に会場を移し、夜な夜な「夢と理想」が語り合われました。

これを現実のカタチに落とすのが谷の仕事でした。当時からマゾ気があったWebmasterは、困難な課題に立ち向かうほど、俄然、威力を発揮して、皆の期待に応えるのを快しとしていました。

「rikuryo.or.jp」ドメインも無事取得でき、9月の開局までに現在のほとんどの骨格(基礎)が完成していました。

初代の運営委員長には、石田雅明さん(73期)が就任。まだ電話回線もか細い当時、無謀にも28.8kbpsモデムで体育大会の実況中継を配信しました。いったい何人の人がリアルタイムで見ていたのだろうか…そんなことはお構いなしに(笑)、デジカメの乾電池はマシンガンのようにみるみる無くなって行きました。

翌年6月の文化祭には同窓会ブースを出展、六稜WEBの啓蒙活動に努めました。この頃、ついに昭和校舎に改築の手が入り、壽榮松正信さん(74

期)が趣味のカメラで定点観測を始めます。すでにオフミの書記役だった壽榮松さんは、その几帳面さと献身性を買われて二代目運営委員長にも抜擢。まさに八面六臂の活躍でした。

三代目の運営委員長に就任したのが、小野祐路さん(76期)。ゴリラーマンのような風貌を余所に、自営の強みで…平日の日中でも、ここぞという時には必ず現れ支えてくれる…頼り甲斐のあるナイスガイでした。この頃から「六稜の著名人」をWEB上で募集、六稜祭(文化祭から改名)での展示が好評を博しました。

四代目の運営委員長は小林一郎さん(78期)。楽器製造を生業とされており、クラシック音楽の造詣が深く、六稜WEBの文化面も一層強化されることに。とりわけ「六稜大阪学」のコーナーで『笹部桜考』を連載、先人の紹介に努められました。

五代目にして最後の運営委員長が岸田知子さん(78期)。初の女性委員長で、永年、六稜同窓会の広報を支えて来られた重鎮のお一人でした。創立120周年(1993年)の際、第九演奏の世話役や、約20分のマルチスライド映像の制作に東奔西走した谷のことを覚えてくださっていて、「六稜のホームページを作ろう!」という菅さんの思いにつき「あの谷くんを一本釣りしたらどうか?」と耳打ちされたのも彼女だったそうです。後年聞いた話ですが。

5年目を迎えた六稜WEBに、しかし、「しんどい」という不協和音が聞こえ初めました。

あっさり言い切ってしまうなら、「いい加減…活動に飽きてきた」という【組織の倦怠期】と捉えることもできたでしょう。あるいは「Webmasterの個人的言動を腹に据えかねた」人たちがいたことも事実でした。古来「口は災いの元」と言われる通り、対面では何でもない会話が、しかし、夜中に饒舌になったメールの文章で撒き散らされることで、一種の精神的な【公害】を催していたのでしょう。本人にまったく悪気が無かったことが、却って嫌悪を倍増させたようでした。そうなる…どんな正論であっても、感情がそれを拒否してしまいます。

片や「無償のボランティア委員に、有償のWebmasterと同じだけの期待をされても困る。『自分がうれしいから』『自分にとって有意義だから』参加してきたのであって、それ以上の無理を強要されても、立ち行かない」という主張。この人たちは活動の縮小を唱えました。

一方で「その心情はよく理解できるけども、『自分が愉しく無くなったら、ハイ。おしまい』

というボランティア論も、未熟で考え物だ。大人気ない。立ち行かなくなった人が、静かに退場するのはまったく自由だが、自分たちのペースを皆に強要することこそ、本末転倒ではないか。5年後、10年後のビジョンあつてのことか」という主張。この人たちはボランティアといえども「公」的な使命（mission）の必要性を唱えました。

結局、結論が出ないまま…数年間が過ぎることになります。その間、六稜WEBの方向性も自然と変化して参りました。前半の5年間は、いわば積極的に読み物を作り出すフェーズでした。大人数が寄って集って、惜しみなく手間ヒマをかけ、『われら六稜人』などの珠玉の名作が産み出されたのもこの時期でした。出版物も刊行して、WEBそのものの存在のアピール・啓蒙活動に動んだ5年間といえると思います。

いっぽう後半の5年間は、かける手間ヒマを最小限に抑える必然性があつた所為もありますが、この時期に「読む」WEBから「使う」WEBへの脱皮が図られたフェーズともいえると思います。

『六稜プレイガイド』『六稜ニュース』『読者の声』といった読者からの投稿受付を基本軸とし、『六稜ワールドアイ』という新コーナーが模索されます。最初の3年間はスイス在住のマルキ明子さん(97期)が、いわば独りで、牽引してくださいました。

2006年4月。事実上、空中分解していたWEB運営委員会に対し、六稜WEBをFR委員会の所轄とすることで、管理運営の軌道の正常化が図られました。関係者のただならぬ尽力の成果であることは言うまでもありません。

10年目を前に、ふたたび攻めの布陣が敷かれました。『六稜ワールドアイ』の執筆陣は世界7ヶ国に発展。さらに、ウィーン連載とヴェトナム連載が加わる予定です。

取材陣が講師の元を訪ねるカタチで実現した『われら六稜人』は、講師の側に六稜会館へ足を運んで貰うスタイルの『六稜トークリレー』へと変貌を遂げます。その先駆は『東京六稜倶楽部』の発想でした。

ますます盛んになる同窓会活動…その広報広聴媒体として、六稜WEBは皆さまのご愛顧に依拠しています。そして従来より、手の届かなかった細やかな個別対応を実現すべく、六稜SNSを導入しようという試みも新たに検討が始まっています。さらなる関心と参加をお願いしたい所存です。

事務局だより

年会費納入状況について

前号の六稜会報48号で、2006年12月末現在での2006年度の会費の納入状況をお知らせしました。昨年度は5575人の方に納入いただき、納入率は20%となり、前年度より257名の増加となりました。払い込み方法を、郵便局に加えてコンビニからも増やした成果かと思われまふ。

引き続き、2007年6月末現在での今年度の会費の納入状況をお知らせします。

全体の納入率は14%で、前年同期比1%増となっています。

納入率の最も高い期は 65期で40%の方が納入されています。次いで57期、61期、62期、73期、66期、68期となっています。一方、91期と95期から117期のまでの各期は10%に満たない状況にあります。

納入が未だの方は 会報にはさみこんである払込用紙で、郵便局かコンビニかの用紙を選択して、納入していただきますようお願いします。

尚、直近の年会費の納入状況につきましては 六稜Webの同窓会事務局のページに掲載しています。

理事会報告

■平成19年2月24日

- 六稜会館展示作品の修復および今後の対応
- 平成19年度予算の承認
- 134周年総会に関する事項
- 会則の一部追加による変更

■平成19年6月23日

- 134周年・135周年総会に関する事項
- 平成18年度決算の承認
- 135周年記念名簿の発行決定

母 校 の 窓

北野高校国際交流

北野高校では1990年からアメリカ・ワシントン州シアトルの近くのセントウッド高校との交流を行なっている。90年3月、当時の体育科篠原教諭（柔道6段）が、全国高体連の派遣で同校を訪問し柔道の指導を行なったことが機縁となり、教員の交流が始まり、1992年夏にセントウッド高校生徒2名が来校し、2週間ホームステイ。93年3月には北野から教諭2名、生徒4名が同校を訪問、3週間ホームステイ。以後、同様に続けられている。

近年、教育の場においての「国際化」が図られるようになり、北野高校も95年8月よりAET（外国人英語指導助手）の配置校となった。また、94年からは英語科のカリキュラムの中にオールコミュニケーションが入ってきている。こうした動きに加え、先述の国際交流の実績を継続、さらに発展させるために「国際交流基金」創設を120周年（1993年）記念事業の一環として取り組み、募金の成果の内から1000万円をもって設立された。

ただし昨今の低金利の下、利息だけでは維持が困難であるため、六稜同窓会基金の果実からも援助をいただいている。今後将来に向けて基金の額を増やすことが最大の課題である。この趣旨をお汲み取りの上、ご協力をお願いしたい。

（以上北野高校WEBページより）

今年も3月から4月にかけて実施され、生徒5人と養護教諭の浜崎優子先生、生物科の小西喜朗先生が渡米しました。

後半に付き添いで行かれた小西先生と、参加した生徒によるコメントの一部を紹介します。

小西喜朗先生のコメント

3月27日(火)

コピントン市長訪問

夕食を済ませ、コピントン市役所に集まる。市役所内を案内して頂き、その後ホールに案内される。阿武野高校、北野高校の付添教員・生徒それ



コピントン市長訪問

ぞれ一人ずつ名前を呼ばれて、市長から宣言書を授かった。宣言書には、「3月30日を日本生徒との交流の日とする」と記されている。市を挙げて、日本との国際交流に力を入れているのだなと感じられるセレモニーである。記念品として、羽子板を贈呈した。

3月29日(木) サクラ祭のリハーサル

4限、昼食時に生徒たちは、アメリカ人の生徒の名前を漢字に直した当て字を毛筆で書くというイベントを実施する。例年のことながら、賑わっている。この最中にメルトン先生が5人の生徒めいめいにペットボトルの水を差し入れしてくださった。メルトン先生には、どれほど感謝しても十分感謝しきれものではない。



人気のカリグラフィー（書道）



アンドリュー（？）

3月30日(金) Cherry Blossom Festival (サクラ祭)

Kentlake High School、Kentwood H.S.、Kentrledge H.S.とKent-Meridian H.S. 以上4つの高校が中心となって、関連団体も一緒に行っている合同文化祭である。今年は、Kent-Meridian H.S.で行われる。

5時30分から高校のホールで開会式が始まる。我々、北野高校・阿武野高校の生徒と教員、さらに東京・広島からの生徒・教員も壇上に並んで執り行われる。Kent-Meridian H.S.の校長、日本領事館代表者、ケント市長などの挨拶に続き、記念品の交換式があった。

6時から各会場に分かれて、各種催しが行われる。サクラ祭という名前には、日本文化を紹介するという意味合いも含まれているようだ。ケント地区の方々は日本に対して関心が非常に高く、日本関係の催しも多かった。体育館では、柔道・剣道の模範試合が披露されていた。メインホールでは、ブレイクダンス・パフォーマンス・音楽に混じり、琴の演奏、和太鼓の演技、盆踊りなどがあつた。北野生は、阿武野生とともにパラパラダンスを踊った。

教室沿いのブースでは、空手模範演技、着物を着用しての記念写真撮影、盆栽展示、日本の習字等の催しがある。学生食堂の模擬店では、照り焼き・唐揚げチキン／寿司・焼きそば、おにぎり、鉄板焼きなども売られている。私が模擬店に焼きそばを買いに行ったら他のメニューも既に売り切れであった。残念。

年々サクラ祭に対する意識が高まってきていて、活発になってきているとメルトン先生から聞いた。この日から、ホームステイ先がメルトン先生の家になる。Elenaが本日から他の州での教科の泊まりがけの出張に行くことになり、急遽ステイ先が変更になったようだ。学校から高速道路を走って50分くらい離れた場所で、高台の閑静な住宅街にある。息子さん2人は独立して家を出られ、夫人と二人住まいである。

最後に

今、ホームステイ団が航空機の事故もなく無事に大阪に戻れて、本当によかったと思う。また、今回のプログラムで、沢山の方々に大変お世話になった。北野高校の国際交流委員会の皆さんを初め多くの先生方、そして、ケント地区の高校の先生方には本当にお世話になった。とりわけ、ストーウェル先生夫妻、メルトン先生夫妻には深い感謝の気持ちでいっぱいである。また、北野高校とケント地区高校との国際交流事業をしっかりと発展させていきたいという強い意志を感じた場面が多々あり、これに応えていかなければならないと強く感じた。

各生徒のコメント

2週間の出会い

私のアメリカへの出発は不安ばかりでした。言葉が通じるかも分からない家で過ごすという不安、日本を2週間も離れてアメリカで生活するという不安…。

ただ1つ、心強かったことと言えば、阿武野生を含めた8人でアメリカに行けるということくらいでした。でも、日本に帰って来た今、アメリカに行けて本当によかったと思っています。たくさんの方との出会い、日本とアメリカとの文化の違い…。いろいろな物を目でみて、実際に感じることができました。

楽しかった2週間

私はアメリカで約2週間、とても貴重な体験をすることができました。

1週目は、Staceyという中国人の女の子の家に泊まりました。

初日は本当にコミュニケーションの難しさを実感しました。なんとなく聞き取れても、いざ自分の思っていることを言おうとしたら単語を並べることができず…でもせっかく来たのだから、自分からいろいろなことを喋ってみようと努力しました。

忘れられない2週間

今回のホームステイは、1人だけで2つの家庭に1週間ずつ、全部で2週間をホストファミリーと普段通りの生活をさせてもらうというものでした。とても楽しみだったけど、不安な気持ちもかなりありました。

かけがえのない思い出

出国前日。日本を離れる不安はもちろん感じていましたが、それと同時に、初のアメリカ訪問を心待ちにしていました。

8時間のフライトを終えてシータック空港に到着すると、1軒目のホストファミリーであるレイン家のお母さんと、ホストのジャスティンが迎えに来てくれていました。そして、いよいよここから正に英語漬け。誰も助けてはくれません。しかし、家に向かう途中、車の中で会話をすると意外と通じたので少しほっとしました。簡単な会話ならいけるとそのとき思いました。

We share the same sky

期待と不安で一杯だった13時間のフライトを終えアメリカに到着。一週目のホストDanel Bacon家も、二週目のホストGreg Ikeda家も、僕をととても温かく迎え入れてくれました。

初めは自分のことを話すのでも精一杯で、何より感じたのは自分の単語力不足。喋る時に最も重要なのは文法よりも単語なのだと思います。

それともう一つはヒアリングの能力。相手が何を言っているか分からなければ、自己紹介はできても会話はできないのです。しかしそんな中でも2,3日経つと次第に耳が慣れてきたのか、相手の言っていることが分かるようになっていきました。

もちろん言葉が通じなくてもある程度は意思の疎通ができるけど、やっぱり「話す」方が楽しくて、それからの毎日はより一層素晴らしいものになりました。



賑わうカフェテリア (CBF)

119期クラス幹事決まる

2006年度3年生（119期）9クラスそれぞれの同窓会クラス幹事が決定しました。また、12月18日に開かれたクラス幹事の集まりでは、木村市三事務局長（73期）およびFRを代表して松岡信道さん（111期）から同窓会活動の意義についてのお話しをいただいた後、119期学年理事に9組・成尾君と同じく9組・奥田さん、副理事に7組・庄司君と8組・野口さんが選出されました。冬休み前の22日に行われた3年学年集会の場では、クラス幹事のメンバー紹介を行いました。

組	男 子	女 子
1	中野 篤	福井 彩乃
2	瀬口 将継	明坂 弥香
3	堀田 裕介	竹山 香奈
4	杉村 貴久	茂山恵里那
5	礼場 健人	米村 祐紀
6	柴田 翔伍	小林 洋子
7	庄司 大佑	野中 香織
8	丸野 晃嗣	野口 加耶
9	成尾 英和	奥田 紗千

（編集委員より…

48号掲載予定でしたが今号に掲載させていただきました）

平成18年度 「北野高校文化活動振興賞」 （八木賞）受賞者決まる

今年から「62期同窓会」より「六稜同窓会」に管理・運営が移管された「北野高校文化活動振興賞」の受賞者が次のように決まり、去る6月10日「六稜祭」当日、授与式が行われた。

「振興賞」

三年 坂本 尚哉 君

「ロックとクラシックを融合させ、シンセサイザーを使っての作曲活動」

二年 中谷 浩規 君

「オーケストラのコンサートマスターとして、またヴァイオリンのソリストとしての活動」

「19年度助成金」

美術部活動への助成

また、昨年「振興賞」を受けられたピアノの森田みず希さんがこの春、東京芸術大学に見事に合格され、四月にご父兄共々学校を訪問「この賞を戴いたことが大変励みになった」とお礼を申された。今後のご活躍を期待したい。

平成17年度の 文化活動振興賞を受賞して

森田 みず希（118期）



紫陽花が咲き、みどりの美しい昨年の今頃、六稜祭の日に北野高校の栄誉である「文化活動振興賞」を受賞させて頂きました。受賞決定のお電話は佐々木先生から頂いたのですが、浪人生の私に？と申し訳ない思いと感謝の気持ちでいっぱいでした。

この素晴らしい賞を下さった六稜同窓会の方々、北野の先生方、その他多くの皆様の支えがあって浪人の一年間を乗り切ることができたと思います。この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

先日、「東京六稜会 第50回記念総会」に出席させて頂きました。この4月から一人暮らしをし、初めて音楽を専門にした学校に通い、色々と東京での生活に慣れていない私にとって、この「北野」の集まりはとてもホッとした気持ちになりました。またその会では、改めて北野の歴史と伝統の重みを感じ、その中の1ページに加われたことを大変嬉しく思います。

高校在学中も様々な人に支えて頂きながら、楽しい3年間を無事終えることができました。最後に、感謝の気持ちを胸に今後とも精進して参りたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

教職員異動（敬称略）

・退職

事務部長 坂上 誠

教諭 数学 森 真一（H18.11.27付）

教諭 英語 高砂 千聡

実習助手 中川 淑子

（再任用で引き続き北野高等学校に）

専任主事 東 洋一

・転出

教諭 国語 岩倉 哲也

高槻北高等学校へ

教諭 社会 樽本 清和

緑風冠高等学校へ

・着任

事務部長 小久保 勝司
 桜塚高等学校事務部長より
 教 諭 国語 萩原 美香
 新採用
 教 諭 社会 浜野 斗紫子
 阿武野高等学校より
 教 諭 数学 中島 正樹
 新採用
 教 諭 英語 坂口 美樹
 箕面東高等学校より

おくやみ

木川田 誠先生（音楽科S32～37）が
 本年2月19日にご逝去されました。
 玉田 真澄先生（英語科S3～13）が
 本年3月8日にご逝去されました。
 高田 貞子先生（家庭科S25～51）が
 本年4月14日にご逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成19年度 大学合格者・就職者数等一覧

国立大学		公立大学		京都嵯峨芸術		短期大学	
北海道	4	兵庫県立	2	京都産業	2	京都市立看護短	2
弘前	1	高崎経済	1	京都女子	1	新見公立短期	1
東北	3	前橋工科	1	京都精華	1	合 計	3
埼玉	1	岐阜薬科	1	京都造形芸術	1		
東京	4	滋賀県立	2	京都橘	2		
東京芸術	1	京都府立医科	2	京都薬科	13		
一橋	2	大阪市立	15	同志社	100		
横浜国立	2	大阪府立	26	同志社女子	6		
信州	2	神戸市外国語	2	立命館	121		
静岡	1	奈良県立医科	1	龍谷	8		
名古屋工業	1	奈良県立	1	追手門学院	1		
滋賀	2	合 計	54	大阪医科	6		
京都	40			大阪大谷	1		
京都教育	1			大阪芸術	2		
京都工芸繊維	2			大阪工業	3		
大阪	42			大阪電気通信	1		
大阪外国語	7			大阪薬科	10		
大阪教育	11			関西	61		
神戸	27			関西医科	1		
兵庫教育	2			関西外国語	2		
奈良教育	1			近畿	16		
奈良女子	3			摂南	1		
鳥取	1			関西学院	82		
岡山	1			甲南	8		
広島	2			甲南女子	1		
徳島	2			神戸学院	2		
香川	1			神戸松蔭女子学院	1		
愛媛	1			神戸女学院	2		
九州	2			神戸薬科	8		
宮崎	1			兵庫医科	2		
合 計	171			兵庫医療	4		
				武庫川女子	3		
				産業医科	1		
				合 計	580		

準大学等	
防衛医科大学校	1
気象大学校	1
防衛大学校	3
合 計	5

専修学校等	
合 計	0

就 職	
合 計	0

種別合計	
国立大学	171
公立大学	54
私立大学	580
短期大学	3
準大学等	5
専修学校等	0
就 職	0
合 計	813

六 稜 短 信

2006年9月以降、2007年6月までに訃報のご連絡をいただきました方々を掲載させていただきます。次号は2007年4月以降2008年1月末までにご連絡いただいた方々を掲載する予定にしております。

期	お名前	ご逝去日
41期	渡辺 一郎	2007/ 5/ 8
42期	大西 惣次	2007/ 1/ 6
	松井 清	2007/ 2/16
44期	公荘 惟成	2007/ 1/21
45期	川崎 祐宏	2006/11/27
	俵 達博	2006/12/18
	南部 博	2006/12/ 6
	野田 隆一	2007/ 1/
46期	大島 知之	2006/10/29
	寺田正一郎	2006/ 9/ 8
47期	丹部 節雄	2007/ 1/14
	長妻 喜重	2007/ 2/24
49期	伊原 尚也	2007/ 1/ 2
	西澤 壮介	2007/ 1/20
	三宅 彰	2006/12/ 2
51期	菊池 進	2006/11/26
52期	尾崎誠之助	2007/ 2/ 8
	中田 信一	2006/12/
53期	牟田 実	2006/12/17
54期	古林 秀雄	2007/ 1/ 2
	山本 和雄	2007/ 3/ 6
55期	服部金四郎	2007/ 4/11
	濱田 博也	2007/ 2/21

58期	秋山 宗裕	2007/ 5/27
	遠藤 昭	2006/10/
	森井日出男	2007/ 2/ 1
	米原 克彦	2007/ 1/28
59期	上田 等	2007/ 1/20
	北田 純一	2007/ 4/10
60期	井上 嘉之	2006/11/14
	高木 正巳	2007/ 2/27
	堀田 鉄也	2007/ 5/27
61期	今津 篤實	2006/ 9/ 9
	白川 茂	2007/ 1/31
62期	西山 幸雄	2007/ 4/12
	福田 明	2007/ 2/24
	松本健一郎	2007/ 2/11
63期	石黒 武也	2007/ 3/23
64期	上島 克之	2006/10/ 5
	濱口 力	2007/ 2/21
65期	大場 良一	2007/ 1/ 1
67期	伊藤 正久	2007/ 2/ 1
	西野 文雄	2007/ 5/ 6
70期	平田 修一	2007/ 3/16
71期	田中 隆雄	2006/10/
73期	北村市次郎	2007/ 2/
75期	吉田 範子	2007/ 2/ 3
78期	道満 冴子	2007/ 3/18
87期	伊藤 玲子	2007/ 1/ 1
89期	辻野 三枝	2007/ 1/27

(敬称略)

ご卒業期順及びご逝去日順に掲載しております。
謹んでお知らせいたします。

表紙説明 明治35年(1902)4月、堂島から北野に移った校舎は、昭和6年まで、今の済生会中津病院の所にありました。

阪急電鉄の宝塚線が、梅田から路面電車として開通しましたが、神戸線と併せて高架になったときに、一部の線路が路面電車として残り『梅田-茶屋町-北野』間800mが北野線として使われましたが、昭和24(1949)年廃止されました。(現在その一部は京都線になっています)

また、天六と野田をつなぐ阪神の路面電車と交差しており、この路線の『北野』『中学

前』の駅名が大正時代の地図に見えます。この地名『北野』が北野中学の由来です。(太融寺当たりまでのかなり広い範囲が北野であつたそうです)

基礎になっている地図は『国土地理院発行西九条・大阪城1万分の1地形図平成8年版』

それに、『日下わらじ屋発行大阪市パノラマ地図大正13年発行』を重ねています。当時の北野中学の面影を残しています。

現在の済生会病院の前庭には、北野中学の碑が建てられています

六稜同窓会134周年総会

開催のご案内

日時:2007年10月28日(日) **13時**から
場所:北野高校 多目的ホール・六稜会館

総 会

多目的ホール

12:00

受付開始

13:00~14:45 総会

各種議事・活動報告
卓話

①卓話紹介

「美術作品の真贋について

ファン・ゴッホ、フェルメール」

美術作品の真贋鑑定についてお話しします。ファン・ゴッホとフェルメールの贋作事件、裁判を例にあげながら、真贋の鑑定をめぐるさまざまな問題にふれる予定です。あまり内容を予告してしまいますと、本番の話が面白くなりそうですので、紹介はこのぐらいにさせていただきます。

懇親会及び 119期歓迎会

六稜会館3Fホール

15:00~16:30

参加費 3,000円

(但し事前払込は2,900円)

63期(S26卒)以前と、119期(H19卒)の方は、参加費無料です。

幹事期:88期

【お願い】

ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください。

②卓話者履歴

園府寺 司 (こうでらつかさ)

北野高校88期。大阪大学文学部卒、同大学院文学研究科在学中にアムステルダム大学文学部美術史研究所へ留学、文学博士号を取得。広島大学専任講師、助教授、大阪大学助教授を経て2001年より大阪大学大学院文学研究科・文学部教授。専攻は西洋美術史、ゴッホ研究の第一人者です。在学中は野球部に所属、3番ファーストの強打者でした。



六稜会報

No.49

発行日 2007年9月1日

発行者 山本 次郎

編集委員 岡田 一彦(65期)

壽榮松正信(74期) 作山 倫子(88期)

安井 昌子(88期) 出口 学(94期)

松田 典子(95期) 北野 美穂(113期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>

〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内

phone.06-6306-0374 fax.06-6306-1335

《e-mail》office@rikuryo.or.jp 《郵便振替》00990-4-68025

印刷 株式会社 シーズクリエイト

〒536-0011 大阪市城東区放出西1-7-15

phone.06-6969-6090 fax.06-6969-6089

事務局 月・水・金(祝日は休)10:00~17:00 六稜会館2階